令和９年度　庄原実業高等学校　県外からの生徒受入実施計画書

≪学校のＰＲポイント≫

○「正解のない問い」に挑む未来思考型ＰＢＬ

「10 年後の庄原をどう創るか」をテーマに、地域の未来を考え、自分なりの最適解を創り出す力を育成します。

○農業・食・環境・暮らしを、最先端とリアルで学ぶ

生産・食品・環境・生活の４学科の多様な専門分野を学び、スマート農業やＩＣＴ等の先端技術にも挑戦。地域や現場での本物の体験を通して学びを深めます。

○地域と繋がり、自分の未来を創る

地域、企業、大学などと関わり、地域そのものを学びのフィールドとして、自ら考え、選び、挑戦する力を育てます。

≪受入実施計画の内容≫

県外からの受入人数

８名程度

実施に当たり県外の生徒へＰＲする取組

○地域との繋がり

地元企業、県立広島大学及び農業技術大学校、庄原市商工会議所等と連携した学びを日常的に広く展開しています。（直近５年間において毎年 100 件以上の連携）

・現場での最先端の実習
・地元企業との共同商品開発
・県立広島大学の実県ラボ（高校内に大学の研究室を設置）
・高校在学中に県立広島大学の単位修得ができるアドバンストプレイスメント
・森林協定による森林組合との連携

○個々の進路希望に合わせた様々な取組

「庄実デュアルシステム」において、希望者は毎週金曜日現場で直接学ぶことができます。進路希望に合わせて現場で実際に学ぶことができ、進路選択や進路実現に生かしています。

実習先の例：県立広島大学、庄原日赤病院、保育所、建設会社、国営備北丘陵公園、動物病院、先進農家など

○寮生活における学習補充体制

県立広島大学の学生が寮の宿直として勤務しています。寮の学習時間には、学生が学習支援を行います。

〇広大なフィールドを活用した最先端の学び

学校が所有している敷地面積は東京ドーム約 20 個分あり、この広大なフィールド全てが学びの場となっています。教室の机の上だけで行う学びではなく、広大なフィールドで伸び伸び学ぶことができ、以下のような成果を収めています。

・ＡＳＩＡＧＡＰ認証取得（日本ナシ、ブドウ）
・「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証（日本ナシ、ブドウ）
・香港への輸出（二十世紀ナシ）
・農林水産省「みえるらべる」三ツ星取得（日本ナシ、ブドウ）
・中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定（日本ナシ）
・第 12 回全国和牛能力共進会特別区出場

生徒の住まい、食事等

【住居の形態（下宿、寮等）】

・学校併設型の寮（男子寮と女子寮が別棟で両棟の間に食堂があります。）

【受入可能人数】

・男子寮 30 名（各学年 10 名程度）　女子寮 21 名（各学年７名程度）
※県外の生徒は毎年８名程度受入可能

【月額】

・総額約 60,000 円（寮費 30,000 円、食費 30,000 円）

【食事の回数】

・平日は朝、昼、晩の３回　休日は食事なし

【入居条件】

・本校で意欲的に学習することを希望する生徒。

【備考（地元からの補助等）】

・なし

高等学校ホームページ等ＵＲＬ

【学校ホームページ】

https://www.shobara-h.hiroshima-c.ed.jp/

【学校紹介動画(YouTube)】

【公式 Instagram】